

# 八王子明星父母会会報

Hachioji Meisei Fubokai Kaiho

平成27年度版

平成二十七年八王子明星父母会総会・懇親会が、先生方、保護者の皆様、並びに役員の皆様の協力により有意義に終わりました事をご報告いたします。

分科会におきましては、保護者の皆様がお聞きしたかった事、先生方からお伝えしたかった事など活発に意見交換が行われ、参加された方々のご家庭での教育の一助になったものと思われまします。また、懇親会では食事を交えながら少しほぐれた気持ちで先生方と交流させて頂き、分科会とは違った面での情報交換が行われたものと思えます。

小学校から高校までの十二年間では、保護者としての悩みや課題は変化していくものと思えますが、子どもの将来や教育環境の向上を願う気持ちは年代関係なく共通です。学苑では教育環境の向上や在学生へのサポート、そして将来の学苑の為の様々な取り組みが行われています。目まぐるしい時代の変化の中で、システム変更に戸惑うことも多いかと思えますが、是非遠慮せず先生方と意見交換され、お互いに協力し合い時代への変化へ対応して頂ければと思います。

八王子明星父母会の皆様からのご支援、ご協力で運営されています。今後とも運営へのお力添えを頂けますようお願い申し上げます。

八王子明星父母会

会長 木下承宰



中学・高等学校 畠山校長

平素は、本校の教育方針にご理解とご協力いただきありがとうございます。

私は所要があり懇親会からの出席でありましたが、保護者との意見交換会の場では、昨年同様幾つかがご質問やご意見があり、良き意見交換の場になったと報告を受けております。親の役割と学校の役割は違いますが、生徒の健全な成長の為に、学校と家庭との連携は不可欠であり大変重要なことであります。学校の主役は「児童・生徒」であり、私学は「お預かりした児童・生徒をどのように学ばせ・育て、社会に貢献できる人材を輩出するか」と言う事につきまします。それが「建学の精神」であり、私学の教育の根幹であります。

今年度から大きな改革に向け歩み出しました。今年度の重点事項は、第一に小中高連携の強化、第二に高校の大学進学実績の向上です。次年度は「世界に貢献する人の輩出のみならず、世界で次世代のリーダーになる人材の輩出」を新たな目標とするところです。その為、明星グローバルサイエンスクラス (MGS) を設置します。

子どもたちはいずれ社会に出ていきます。社会は学校の試験や模擬試験或いは入学試験のように答えが1つではありません。一人ひとり全部答えが違います。そのような社会の中で自分自ら切り拓いていける「知力・体力・精神力」を持った、強く逞しい人間に育てて欲しいと願っております。

本校は、長い歴史と伝統を持った学校でございます。常に子どもに向き合った面倒見の良い校風は決して失いはしません。よろしく願いいたします。

## ● 中学・高校 分科会 ●



iPad の使用法について。必要なものでしょうか？

社会で出てからタブレット (iPad) は必要なので導入しました。先日の遠足について、グループでプレゼンテーションをしてもらいましたが、今後は一人ずつしてもらいます。Classi では個々にコメントを入れ、サポートしています。

iPad に慣れていないので、入力に試行錯誤し時間がかかってしまいます。

教員もレクチャーを受けながら、使用しています。自分が使いやすい方法で良いと、アドバイスを受けています。全部は使い切れないと思います。

タブレット導入で使用料がかかり、保護者の負担も増えるので、Wi-Fi を導入してほしい。電子黒板の学校もあり、今後の iPad の見通しを教えてください。

電子黒板は 8 台あります。来年度より電子教科書も用意されるので、iPad に配信する事も検討しています。Wi-Fi 導入も検討しますが、まずは iPad を持つことです。

5月の授業参観で、教室の扉が閉まっていたので、入りやすいように配慮をお願いしたいです。

扉が開いていても、入ってもらえないクラスもあります。また、教員が扉を開けて授業を始めても、生徒が閉め、鍵までかけてしまう事もありました。

高3の保護者向けに講習会がありました。高1、高2年生の保護者にも大切な講習と。また、小学校の運動会と重なり参加出来ない保護者もいたので、小中高の連携もとってほしいです。

今年から進路指導担当の先生がプランニングし、講習会を実施しました。高1の生徒は先日話を聴きました。

明星は、できない子どもも面倒を見てくれる学校と思っていましたが、評価方法も変わり部活をしているので、ESも出られません。頑張りを認めてくれる学校だったのではないのでしょうか？

昨年、部活を優先し、ESに出られない生徒に、模擬対策をたくさん作りました。部活を頑張っている生徒は、巻き返しが出来ます。評価については3年前、5対5の割合にしたところ”テスト勉強をしなくても大丈夫なのでは”となってしまったので、8対2の評価方法に戻しました。

明星は変わってしまうのではと最近聞きますが、来年度より、選抜クラスが特進クラスに、一般クラスが本科と名称が変わりますが、明星教育の基本は変わりません。

クラス内のLINEでひどいやり取りがあったので、タブレットも心配です。

Classiは1対1で教員です。色々な教員がみているので相談を書いてみたらどうでしょうか？生徒の書き込みは1回のみで、やり取りはできません。

部活の公式戦と期末試験が近いので、試験前でも部活があります。公式戦を避けて期末試験を実施する事は出来ないのでしょうか？

公式戦で勝ち進むこともありますし、すべての部活が試験と重ならないようにするのは難しいです。

中高生になると写真の数が減る中、今回初めて運動会の写真が申し込み出来て良かったです。今までカナダ等の集合写真も無かったので、行事には写真屋さんを同行してもらいたいです。

カナダで写真は撮りましたが、カナダの学校側が生徒が写ることに難色を示しました。アメリカや沖縄の写真は、卒業写真に入れました。行事に写真屋さんが同行してもらえると教員もありがたいと思っています。

今年から、中高合同の運動会はなぜですか？

中高一貫教育なので実施しました。メリットとしては、1日で済む事。中学生が高校生に、感心を持つ事。高3が中1に誘導方法を教えるのが微笑ましく、交流がもてた事がよかったです。デメリットとしては、競技数が減った事。高3を中心にしたので、中1の競技が少なかった事です。思ったより保護者の混乱も無くよかったですと思っています。

子どもたちの意見では、新しい競技のルールが徹底されていなかった。中3がメインで頑張るつもりが、高3メインで残念だった。また、中高別の方がよいと思う保護者も多いです。主役は子どもたちですので、よろしくお願ひします。

お招きいただきありがとうございます。昨年同様に保護者のみなさんの明星学苑に対する深い愛情を感じました。学校運営や教員の指導などについてのご要望や希望、忌憚のないご意見は、学校をさらによくしたいという保護者のお考えとして、真摯に受けとめていかなければと思いました。懇親会の席においても色々とお話が聞けました。保護者のご意見やお考えを直接伺う機会はとてもいいと考えます。八王子明星父母会のみなさんのお考えは、明星学苑の保護者全体のものと据え、伝統ある八王子明星父母会を中心に改めてお話を伺える機会が増えることを期待します。



小学校 味形校長

幼稚園、小学校、中学高等学校と府中全体で一貫教育を見直していきます。今年は「理数の明星」「英語の明星」をスローガンに一貫教育を押し進めていくスタートの年です。建学の精神に則り伝統のよさを引き継ぎながら、各園校が特色を活かし教育活動に積極的に取り組んでいきます。

学校、教師の役割は第一に授業を通して子どもたち一人ひとりの学力をのばすことです。小学校部会の話し合いでも授業についてご質問がありました。学力を高めるために基礎的生活習慣の育成は欠かせません。これらに応えられる授業力・指導力を一人ひとりの教員がつけるために、教育理念・目標や方法の教員同士の共通理解による指導体制を築くことが校長の役目です。伝え続けていくべき素晴らしい明星らしさを明確にして、さすが明星と評価されるよう努めていきます。

八王子明星父母会のみなさんのお力添えをいただき、明星学苑の教育を確固たるものにしていきたいです。今後ともよろしくお願いたします。



## ● 小学校 分科会 ●

- ・今年度から小中高での一貫教育をはじめました。今回も忌憚のないご意見等々いただきそれを持って判断していきたいと思ひます。(味形校長)
- ・変えてはいけないところ、変えなくてはならないところをふまえてやっていきたいと思ひています。(中江教頭)

4月の授業参観日が例年と違っていました。日程を事前に（できれば3月中）教えていただけませんか？

中高との関係があるので流動的にはなってしまいます。おそらく次年度は16日土曜日ではないかと思ひます。4月だけの予定を早めに出すことについては検討したいと思ひます。

各種講演会を開催していただいているが開催日のお知らせも早めに教えていただけませんか？

来年度以降は定期的にやっていきたいので、ある程度は早めにお知らせはできるのではないかと思ひます。ただし、講師のご都合、あるいは中高の視聴覚教室をおさなくてはならないこともあるのでご理解いただきたいです。

運動会の暑さについての対策を考えていただけませんか？中高はフード付きのタオルをかぶっていたので、そういったことはどうなのでしょう？

全員にそれを許すとか個人的に自由にさせるということについては考えていません。1つを許してしまうと崩れていくことがあるので、小学校は慎重に考えたいと思ひます。また、養護教諭等からは体調をすぐ崩したという報告はきていませんでした。校長からは運動会を春と秋に分けてもいいのではないかと、という考えもあるとの話と、見栄えを気にすれば保護者からの多くの要望があれば統一的にすることも1つの選択肢かもしれません。

セーフティ教室の内容が毎回同じような感じなので、少し変わったことをしても良いのではないのでしょうか？

学校としては今組織替えの最中であって、色々と考えていかななくてはならないと思ひています。セーフティの考えとして、携帯・スマートフォンの使い方、自転車の乗り方等もそうであって、土曜日に特別授業としてやってもいいかな？という考えももっています。

漢字ノートの使い方は五十音順になっているが、簡単なものと難しいものがバラバラになっている。家庭で教えようにもなかなか難しいですが、このままなのでしょうか？

五十音順・新出漢字順の教え方にそれぞれ長所短所があります。とりあえずはこのままいきたいと思っています。また、学校全体として漢字検定を見据えてやっています。

漢字検定も希望者だけでなく全員ではどうでしょうか？

一貫教育を始めていくうえで、今まず算数を重点的に行い始めました。小中の先生方の交流等行っています。また、国語に関しても取り組みを考え始めています。漢字検定もそのひとつです。校長からは、漢字の学び方も色々で10個同じものを書くだけではあまり意味もない。1つの例として、漢字カルタというものが教室があるので遊びながら漢字に触れ合い、興味を持つことが大事なのではないでしょうか？クイズ形式でやってみたりもしています。

算数検定についてはどうなのでしょう？

算数検定についても漢字検定、英語検定いずれも明星小学校では基礎的なことをしっかりと教えていきます。そしてそのあとそれぞれをどう生かしていくかを考えています。例えば、百マス計算についてもただやるのではなく、やり方が問題であって、それを細水先生がいらっしゃって変えつつある途中です。

めきめきスタディについてですが、基礎的なことばかりなのでそれ以外に発展的なことをしてほしい児童もいるのですがいかがでしょうか？また、めきめきの本来の目的は補習なのでしょう？発展的なことを教えていくものなのでしょうか？

本来は補習というか、確認という意味合いです。勿論グループ分けをしてやっている場合もあります。

めきめきの参加の仕方について学校側からも出なさいと言ってほしいのですが、いかがですか？

以前は出欠もっていませんでした。ただ、そうすることによって子どもたちがいい加減になる恐れが出てきたのでとるようにしました。出欠に関しては家庭で話し合いをして決めてほしいです。もちろん学校側からも個別にいう場合もあります。

テストの平均点は教えてもらえませんか？自分がどのくらいにいるのかが知りたい子どもがいます。

今まで出したことはありません。個別に先生に聞きに行ったりすると、この子は聞いた、あの子は聞いてないという感じになりクラス自体の雰囲気も悪くなる。他学校のような受験のための学校になるようなことは明星小学校ではしたくないと思っています。学年平均は出す学年もあるが、クラス別に出したりすると競い合いになるのでそれも避けたいです。

学校公開日の弁当の有り無しについてですが、希望者だけとかはいかがですか？（いるという方といないという方の意見がありました）

希望制という意見は出たことはありません。教師側からも出ていません。去年までは1時間目だけだったが今年は明星ファミリーを増やそうということで例年と違ったかたちになりました。今後はまだ未定でわかりません。

中高生のバス内での飲食について、中高への申し入れをしていただくことはできますか？

ダメなものはダメということをお願いしなければいけない。小学校時代にしっかり教育したいと思っています。

苦情等はいまだにありますか？

少ないがなくはないです。例として、府中駅で階段を駆け上がりぶつかり携帯電話を壊してしまった。バス内で大きな声を出したり喧嘩をしていた。という例がありました。車の苦情も多いです。ナンバー・車種も特定されているので十分注意していただきたいです。



## 八王子の新たな100年を担う人材の育成に向けて

八王子明星父母会報誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。貴会は、昭和33年に発足された歴史ある会であり、長年に渡り、八王子から明星学苑に通われる児童・生徒と保護者とのパイプ役を担ってこられましたことに深く敬意を表するものであります。

私は、中学、高校、大学と明星学苑で学びました。『健康、真面目、努力』という明星の校訓を胸に学友とともに過ごした学生生活が、今日の私の大切な基盤になっていると思っております。



八王子市長 石森考志

平成27年4月1日に、本市は東京都初の中核市に移行いたしました。中核市移行につきましては、私の市長公約として進めてきたものであります。東京都から移譲された1261の事務権限を最大限に活用し、地域の実情に即した施策をスピーディに展開することで、市民の皆様は「中核市に移行してよかった」と実感していただけるよう、まちづくりを進めているところであります。

折しも2年後の平成29年には、本市は市制施行100周年という大きな節目の年を迎えます。キャッチフレーズは、「百年の彩りを次の100年の輝きへ」です。先人によって築かれてきたわがまち八王子の魅力を再認識するとともに、次の100年に向けて、市民の皆様とともに「活力ある魅力あふれるまち」の創造に全力で取り組んでまいります。

子どもたちは、未来をひらく社会の希望です。貴会におかれましては、八王子の新たな100年を担っていく明星学苑の児童・生徒の成長を、世代を超えて喜び、あたたかく見守っていただければと思っております。そして、貴会の活動を通じて、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」明星の建学精神の実現に向けて、国際社会に大きく翔き、貢献する人材育成に御尽力くださるようお願い申し上げます。

結びに、会員並びに明星学苑の児童・生徒の皆様のご更なる御活躍とともに、八王子明星父母会のより一層の御発展を心から祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。